

知事選 佐原わかこ候補下北入り！原子力に頼らない地域づくりを訴える



佐原さんの応援演説をする木下氏（大間稲荷神社前）

16 日に告示された青森県知事選挙は現職候補に敢然と挑んだ「佐原わかこ」候補が奮闘中です。

20 日には下北入りし、大畑、大間、佐井では木下千代治氏が応援演説を行いました。また、風間浦では能登勝彦村議（立件民主・県幹事長代理）がマイクをにぎりました。また、むつマエダ本店前の街頭演説には約 50 名の聴衆が集まり、総支部からは日土代表代行が応援演説を行いました。

下北各地で佐原氏は原子力に頼らない地域づくりを訴えるとともに、弱者に寄り添う政治を目指す姿勢を強調しました。

同氏は不自由な体をものともせず、元気いっぱいむつ下北計 6 か所で街頭演説を行い、午後 6 時半からは「まさかりプラザ」で「佐原わかこさんを囲む会」に参加しました。翌 21 日には豪雨でしたが東通村、六ヶ所方面へ遊説に向かいました。

「佐原わかこさんを囲む会」に 50 名！

～20 日、午後 6 時 30 分 まさかりプラザ～

市内の遊説日程に合わせて開催した「佐原わかこさんを囲む会」が開かれました。前回の知事選で大竹進氏を応援したメンバーを中心に 50 名が参加、また多くのマスコミ取材もありました。

会合では社民、共産、国民民主の代表が連帯のあいさつ（立憲民主はメッセージ）があり、佐原さんの決意表明がありました。続いて、参加者数名から激励の発言がありました。佐原さんの同級生という S さんからは、ユーモアたっぷりに佐原さん応援の言葉と差し入れをいただきました。

激励の花束を受け取った佐原さんは参加者全員と握手をして疲れも見せずに会場を後にしました。



激励の言葉を述べる六ヶ所村泊の種市信雄さん

佐原わかこさんを囲む会スナップ集



花束贈呈する三国さん



挨拶する日土党代表代行



挨拶する杉浦氏（国民民主）



応援演説をする能登風間浦村議



参加者と握手する佐原さん



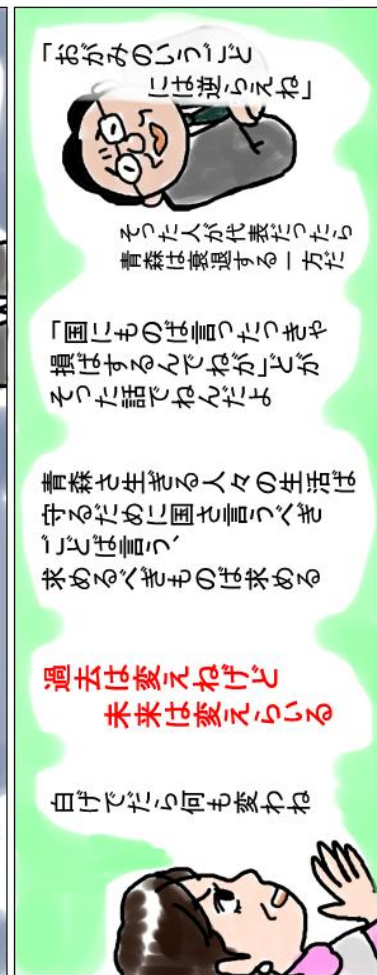
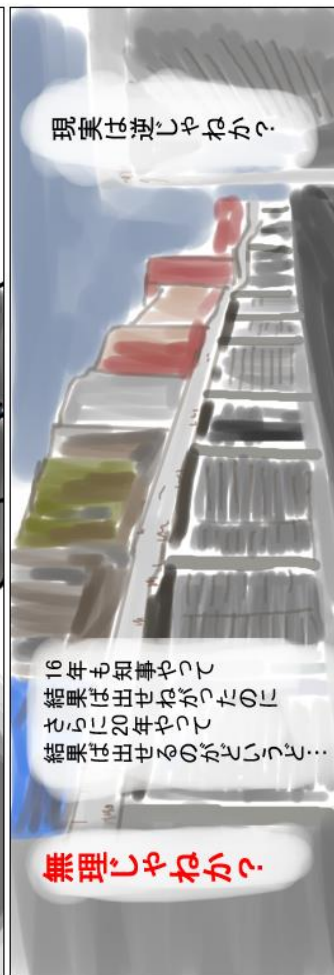
司会進行の野坂庸子さん



挨拶する工藤市議（共産）



5/21 東奥日報紙より



佐原さんの支持者から届いた風刺漫画です。



反核実行委員会、4・9集会前日にRFS 社およびむつ市へ公開質問状を提出！

本年度の「4・9反核年の日全国集会」は統一地方選日程もあり例年より1か月遅れの5月11日に青森市駅前公園で開催されました。下北からは党及びむつ自治労連退職者会の9名が参加しました。

本集会に先立ち、前日の10日には県内関係各団体への申し入れ行動が実施されました。下北地区では大間町役場及び電源開発(株)、むつ市役所及びRFS(株)へ行いました。

申し入れはいずれも青森県反核実行委員会、原水禁国民会議、原子力資料情報室の連名で実施され、地元からは「大間原発に反対する会」の奥本氏、「格の中間貯蔵はいらない下北の会」の野坂氏、党総支部から日土、栗橋が参加しました。

申し入れの際に提出した公開質問項目は以下のとおりで、後日、文書回答がなされることとなりました。



むつ市役所で申し入れ趣旨を述べる原水禁井上事務局次長

むつ市への公開質問項目

1. 原子力船「むつ」由来の放射性廃棄物が「むつ科学館」周辺に長期貯蔵されているが、いつまでに撤去されると承知しているか？
2. 医療系放射性廃棄物の最終処分場が用意されていないが、「むつ」由来の放射性廃棄物の施設外への撤去は可能か？
3. むつリサイクル貯蔵の担当者によると、操業開始後50年目を迎えて搬出する場合、第二再処理工場がなければ元の原子力発電所に返却するとの説明であったが、貴職も同じ認識か？
4. 貯蔵から五〇年後に元の原子力発電所に返却する場合に、電力の自由化によっては、搬出元の電力会社が倒産している可能性があるが、その場合はどこに返却することになるのか事業主から確認しているのか？
5. 巨大津波の被害発生の際とか、自衛隊三沢基地と米軍三沢基地の戦闘機等が墜落した際でも、どのように安全に管理するとの説明を受けているか？
6. 貴職は2018年度内の操業をリサイクル貯蔵に働きかけたし、リサイクル貯蔵も2018年度内の操業を目指した。だが、これが2021年の再処理工場操業とセットで行うようになったことについて、どのように思っているのか？

RFS 社への公開質問項目

1. むつリサイクル貯蔵の担当者によると、操業開始後50年目を迎えて搬出する場合、第二再処理工場がなければ元の原子力発電所に返却するとの説明であったが、貴職も同じ認識か？
2. 貯蔵から50年後に元の原子力発電所に返却する場合に、電力の自由化によっては、搬出元の電力会社が倒産している可能性があるが、その場合はどこに返却することになるのか？
3. 巨大津波の被害発生の際は容器に安全性の担保を求めるとされていますが、自衛隊三沢基地と米軍三沢基地の戦闘機等が墜落した際は、その安全対策はどのように取られているのか、安全な管理が出来る方法を説明されたい。
4. 貴職は一時期2018年度内の操業を打ち出したし、事業開始に至らないと売り上げがないとしていました。ところが、2021年度内の操業に一変しましたが、このような計画時期の見直しは、どのような理由で行われたのか？
5. リサイクル事業が開始された後、もしかすると大間フルMOX原発と東通原発の原子力防災範囲の輪に入る可能性があるが、両方の原発の事故の際に、職員は貯蔵建屋に避難するのが安全なのか、敷地外に避難すべきなのか、社内で検討していますか？

下北地域九条の会、第4回定期総会開催！ 5月12日



下北地域九条の会の本年度の総会は5月12日、むつ来さまい館に23名の会員が参加して開催されました。

総会は木下千代治共同代表のあいさつに続いて、社民党(日土代表代行)、国民民主党、共産党が連帯のあいさつがあり、県九条の会からはメッセージが寄せられました。活動報告では、この1年間の地域訪問署名行動は22回、事前のチラシ配布は約3千枚、毎月9日を基本にしたスタンディングは12回で、署名数は5,500筆を超えたことなどが報告されました。

そして、これまでの活動を継続するとともに学習会や講演会の開催、他団体との協力・共同をすすめ、会員増にとりくむことなどの方針を出席者で確認しました。

意見交流では「憲法9条が変えられようとしていることを知らない人も多い」「行動の中で、若い世代は憲法を学んでいないと思った。どう働きかけていくか工夫する必要がある」という声が出されました。

また、個人会員が48名(前年比9名増)、団体会員3団体が登録されていることが報告されました。

5月9日、第5回常任幹事会で県議選総括を論議

県議選の教訓を踏まえて、参院選、むつ市議選を闘い抜こう！

5月9日、県議選の総括を中心に総支部常任幹事会を開催しました。
総括では以下の点をポイントに論議しました。様々な意見が出されましたが、こうした内容を今後の選挙活動に活かすことを確認し合いました。

- ① 杉浦陣営が野党統一を標榜しながらも、実質的な終盤時点（1月末）で共産候補が出馬表明したことは母体の国民民主党サイドの県及び地域レベルで共産党側との詰めが甘さがあったのではないかと。

② 総支部としても推薦の前提であった野党の結束へ向けて何らかのアクションを取るべきではなかったかどうか。

③ そのため、有権者としても選挙への関心が自民対反自民という構図よりも自民候補の順位争いが争点化されたのではないかと。

④ 共産候補が立候補表明した時点で杉浦陣営が反自民であるとの有権者の認識が弱められたのではないかと、とりわけ無所属候補のマイナス面が働らき、杉浦候補の立ち位置にインパクト不足が否めず、知名度の弱さを国政野党の基本スタンスでカバーできなかった。（前回の藤森候補は民主党公認であり、反自民候補であることが理解されていたのではないかと）

⑤ 本部選対の中核を担った国民民主党や後援会の組織活動が果たして万全の体制で進められたと判断できるのか、また、総支部も本部選対メンバー（顧問も含めて5名）として最大限の取り組みができたのかどうか。

⑥ ブロック選対におけるの取り組みの課題と限界についてあらためて精査していく必要性とOB会組織との連携の重要性が再認識されたのではないかと。

⑦ 下北地域九条の会による野党統一への国民民主党及び共産党への働きかけにみられる新しい動きについての評価と課題をどうみるか。

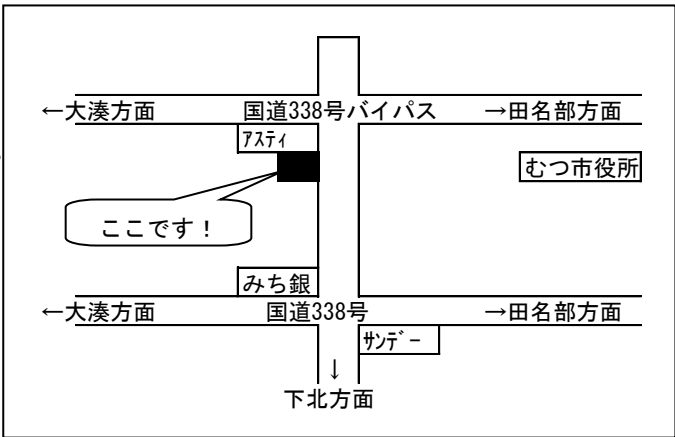
⑧ 日土選挙へ向けて共同紹介者カードを1000枚作成、平和労組系組織を中心に配布したことや共同訪問行動の成果の確認と課題は何だったのか。

⑨ その他、推薦して行動した党としてスタンスと候補への今後の対応をいかにすべきか。

会議終了後は三上県連代表や杉浦県議候補も交えて懇親会を開催しました。この中では杉浦氏より捲土重来へ向けた決意なども示されました。

日土選対事務所確定！6月10日より本格始動

懸案の選対事務所を自宅近くに確保しました。6月10日からの4か月間の借り上げ契約をしました。所在地は「中央二丁目20-5」で衣料品店アスティの隣です。駐車場も10台程度確保できました。直ちに専従体制とはいきませんが、参院選などでも党事務局として活用します。いよいよ選挙戦スタートです。
後援会連絡所看板も旧むつ市内6か所、大畑地区3か所、川内地区2か所、脇野沢地区1か所も設置を終えました。
また、旧むつ市内での辻説法も精力的に実施しています。



★むつ市議選、日程確定しました。
9月29日告示、10月6日投票です。
定員は4名減の22名となります。



日土じゅんの経歴

1960年 むつ市川守町生まれ（59歳）
1978年 青森県立大湊高校卒業
1978年 横浜商科大学入学 1979年 中退
1980年 日本国有鉄道入職
1980年 JR東日本退社
1991年 日本社会党青森県本部専従
1999年 社民党青森県連合会副幹事長
2018年 社民党下北総支部代表代行

日土じゅんとはこんな人

■ 趣味 読書、音楽鑑賞、野球観戦
■ 特技 料理
■ 座右の銘 人の命は地球より重い
■ 尊敬する人 渋谷悠蔵（元衆議院議員、作家）

《後援会加入申込書》

お名前
ご住所
電話番号
ご職業
ご意見など

日土じゅん後援会
〒035-035-0073 むつ市中央一丁目9番20号
TEL (FAX 兼用) 0175 (34) 1172

福祉の充実と活力ある街づくりのために

後援会討議資料

雇用・希望・安心

ひ づち 日土じゅん 社民党

市議会議員は市民と市政の架け橋～日土じゅんの5つの約束

1. 医療・介護・福祉を充実し、安心して暮らせる街づくりを

◇安全・安心・安価で充実した待機者ゼロの介護システムの提供を。
◇地域診療所の充実と国保料の値上げを抑え、水道事業の民営化に反対し、安心できる市民生活を。
◇交通弱者を守るため市内全域を結ぶ公共交通網強化を。

2. 農林・水産・漁業の発展と観光の振興で雇用の充実と若者とシニア世代の融合を

◇基幹産業（農林・水産・漁業）の六次産業化を活性化。
◇下北半島の自然を生かした滞在型観光を推進し、経済と雇用の拡大。
◇若い世代が自信をもって働ける支援を。

3. 子どもが伸びのびと成長できる環境づくりを

◇子育て支援の充実を。
◇子どもの貧困連鎖を断ち切る支援を。
◇小中学生の医療費無料化を。

4. 原子力から自然エネルギー開発への転換を

◇原子力に頼らない地域経済の確立をめざします。
◇あらゆる原子力災害からふるさとを守る対策を。
◇風力・地熱・太陽光などの再生可能エネルギーの開発をすすめます。

5. 市民に信頼される議会の改革を

◇市民が傍聴できる夜間議会の開催。
◇市民の要望を、市にしっかり届けるための出張議会の充実を。
◇議会基本条例の充実を。

市民の「いのち」と「くらし」を守り
創造力豊かな文化都市「むつ市」へ
日土じゅんが働きます！

選挙用リーフレットの試行版です。ご意見、要望があれば修正できます。